

マルチボディダイナミクス協議会 (MBDA) の趣旨

マルチボディダイナミクス協議会 (Multi Body Dynamics Association, MBDA) では、【モノづくりのための CAE 支援技術を強力に推し進める”三位一体”の新しい体制】(図参照)を支援し、その活発な活動の場を提供します。三位一体とは、下記三者の活発な連携です。

- ・マルチボディ解析 (MBD) ソフトウェアを利用してものづくりに反映する**ユーザー**
- ・マルチボディ解析ソフトウェアの開発や販売を行う**ベンダー**
- ・先端的な問題を研究し解決し、ソフトウェア開発に反映していく産官学の**研究者**

【ユーザーの皆様へ】

各種 MBD ソフトウェアの比較検討ができる話題、ソフトウェア選択の指針となる情報、ソフトウェアの基礎理論が理解できる場を常に提供していきます。

- ・セミナーでは、**実践的トピック**を1つずつ取り上げ(「接触」など)、その取扱いに関する各ソフトウェアの技術紹介、解析上のコツやその効果などを詳しく紹介していきます。
- ・複数のソフトウェアについてこのように技術や特色を比較しつつ聴講できる機会はほとんどありません。日常業務で困っている問題点への解決の糸口を探すのに大変有用です。
- ・取り上げるトピックは**参加ユーザーの皆様が困っている問題点の調査に基づいて選び、直接直近の業務に役立つセミナー**を提供し続けます。
- ・既ユーザーの方には他のソフトウェアに関する技術情報や機能を知る有用な機会を提供します。まだ MBD ソフトウェアを使っていない技術者の方にも、その効能を視覚的・具体的にイメージできる場を提供します。
- ・ソフトウェアの根底にある MBD や一般的ダイナミクスの基礎理論を体系的に紹介します。より深い技術的理解と洞察に基づき、本質を捉えた解析ができるようになります。

【ベンダーの皆様へ】

各社が扱っている MBD ソフトウェアの宣伝の時間を十分に、かつ効果的に設け、未開拓分野のユーザーの発掘と販売促進を後押しします。

- ・既存ユーザーや新規ユーザーの方々が広く集まる場において、継続的に幅広いトピックに関してソフトウェアの製品や技術の紹介の場を提供します。
- ・各社が**互いのソフトウェアの特色をそれぞれ紹介しアピールしていただくことにより**、MBD ソフトウェア群全体の魅力をこれまでになく大きく発信できる場としていきます。
- ・他社製品のユーザーも含めた幅広いユーザーがマルチボディソフトウェアに**期待する点、困っている点、要望する点を具体的に、直接広く聞く機会を得て頂く機会を組み込み**ます。これにより、スピード感のある製品の改良、更新、開発に役立てられます。
- ・ベンダー同士が共生し同じ志向性を持って互いに成長していくために、ベンダー同士も情報を共有し交流できる場を提供し、育てていきます。
- ・MBD 研究者との交流の機会を提供します。**学術的な新規技術の取得・習得をしたり、共同研究のパートナーを発掘する機会を得て**、長期的なソフトウェア改良、新規機能の開発に役立てて頂けます。

【研究者の皆様へ】

産業界で抱えている MBD ソフトの問題に関する情報を提供し、共同研究の促進の後押しをします

- ・ユーザーやベンダーとの定期的な交流を通じて、ユーザーから上がってくる技術的/学術的な課題や研究ニーズを調査できる場を提供します。
- ・実際のユーザー相手に研究成果を報告し解説する機会、ユーザーやベンダーとマルチボディダイナミクス基礎理論・技術に関して交流し情報を得る機会、将来的なソフトウェア機能の開発に関する基礎研究や応用研究などの共同研究発掘の場を提供します。

このようにこれらの三者が互いに利益を享受しあう新しい流れを生み出し、確立して行くことを使命として、マルチボディダイナミクス協議会が発足しました。ご期待ください。



図1 マルチボディダイナミクス協議会の性格づけ